

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和3年1月1日

事業所名 すだち坂上

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	・勉強部屋とプレイルームがわかれているのは良いと思う。パソコンルームもあり、とても充実していると思う。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	・利用者が少ない為、スタッフ数はとても充実している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	1	・コロナの為、研修の機会があまりない。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	・年齢などに応じて、難易度をかえたり、少しずつステップアップできる内容を提供していくように話し合っている。 ・キラッとを曜日ごとに変えて行う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0	・1人1人の様子を見ながら、集団、個別を組み合わせる話をスタッフと行い、計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	1	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	0	・日々の記録の記入やその日の出来事をスタッフ同士で話す。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2	0	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2	0		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	・学校や保護者との連携を大切に、学校での様子を聞けるような体制作りを心掛けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	1	・現在、医療的ケアが必要な子は利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1	・今後、行っていけるようにしたい。 (特に新1年生)
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	1	・施設のとなりに公園があり、そこへ遊びに行くことでの交流はあるのだが、児童館などにはコロナの為行かない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1	・送迎時、その日の様子を保護者に伝え、子の良い所などスタッフと共有できるように心がけている。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	0	・送迎時など保護者の方が話しやすい対応を心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	1	・必要としている声があれば、保護者会等を設ける準備はしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	0	・ブログで子どもたちの様子を伝えたり、毎月の予定をイラスト入りで子どもたちにも親しみやすく、作っている。
	35	個人情報に十分注意している	4	1	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	2	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	1	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	・2ヶ月に1回、活動プログラムに組み込んで、避難経路や避難の仕方を周知できるようにしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	0	・身体拘束をしなければならない子は現在は利用していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	・保護者からも聞き取りを行い、アレルギー表を作成して、全員が周知できるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	0	・事故が起こった場合は、速やかにミーティングを行い、全員で共通理解し、同じようなことがないようにしている。